QI活動報告

2024年度

説明と同意（IC）への看護師同席率

看護部・外来担当

QIの目的

看護師IC同席率を90％目指すことができる

患者・家族が納得した上で治療が望めるよう支援していく

QIの算出定義

分子：看護師IC同席件数（IC後に患者・家族の介入も含む）
分母：外来の同意書数と看護師の立ち合いが必要な件数

IC同席する項目内容

1．全身麻酔による手術療法

2．血管内治療

3．補助循環等の装置

4．病名告知や予後の説明急変又は病状悪化時

5．終末期の治療等の意思決定

6．治療方針の決定や倫理的配慮を要する問題等

7．患者の状態や診療行為の侵襲度を結合して医療が必要と判断した場合

Plan



1．外来看護師のICに立ち会う必要な件数と実際立ち会った件数を把握する

2．毎日、朝のミーテイングでIC同席する看護師の調整を行う

3．定期的に各診療科別にIC同席率をデーターにまとめ可視化を行う

Do



1．IC同席件数と毎月同席が必要な件数を調査する

2．看護師の同席が必要な時は、医師が担当看護師又クラークに連絡する

3．毎朝、IC同席の診療科数、外来予約時間の共有調整を行う

Check



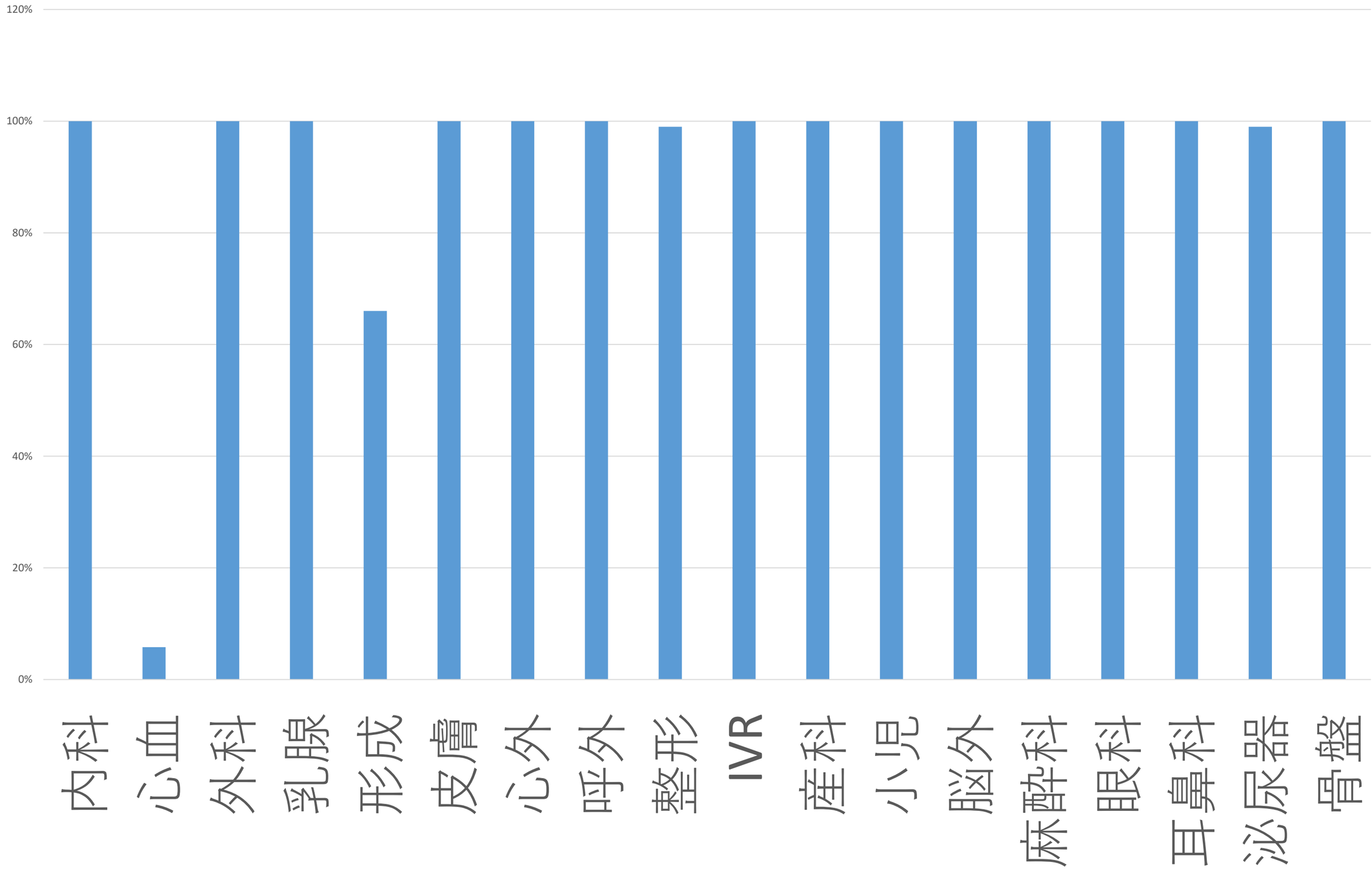
毎月のIC項目別結果

IC同席の内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全身麻酔による手術療法	88.7%	95.9%	95.7%	96.6%	89.2%	92.5%
血管内治療	0.08%	0%	4.55%	0%	21.40%	10%
補助循環等の装置		0%	0%	0%	0%	0%
病名告知や予後の説明	100%		100%			
急変又は病状悪化時終末期の治療等の意思決定	100%					100%
治療方針の決定や倫理的配慮を要する問題等	100%	100%	100%	100%	100%	100%
患者の状態や診療行為の侵襲度を結合して医療が必要と判断した場合	100%			100%	100%	

Check



診療科別IC同席率６月～11月



Check



6月～11月まで6カ月間トータルIC同席1938件/2154件
・月平均IC立ち合い件数　323件
・去年に比べ最も多いIC同席率の時期に比べても68件多くIC同席をしていた
・診療科別で最も多い件数は、麻酔科平均84件/月であった

6月～11月までのIC看護師同席率89％であったことから目標達成出来なかった。

なぜ達成出来ていないか分析
・IC同席項目からみると【全身麻酔による手術療法】のIC同席数にばらつきがあった。それ以外の項目は、IC同席率100％であった
・診療科別でみるとIC同席の少ない診療科があった

なぜ同席率に診療科別に差があるのか分析
・機能評価が終了しIC同席の必要性が薄れてしまったのか
・IC同席の必要性は理解しているが、どのように依頼して良いかわからない状況があるか

Do追加



・IC同席の少ない診療科へ理由を確認し、その内容に応じて対応策を具体的に部署へ提案する

Check追加



IC同席の少ない診療科の理由を聴取

・ICの必要性は理解していたが、どのように依頼して良いかわからずそのままになってしまった
・看護師が常に各科にいるわけではないのでIC同席の依頼できない時があった

Do具体的対策追加



・フリーコメント欄にICと記載することを医師と共有する

・IC同席依頼の声がけをクラーク、医師事務にすると看護師各部署に随時いなくても同席調整を行うことを医師と共有する

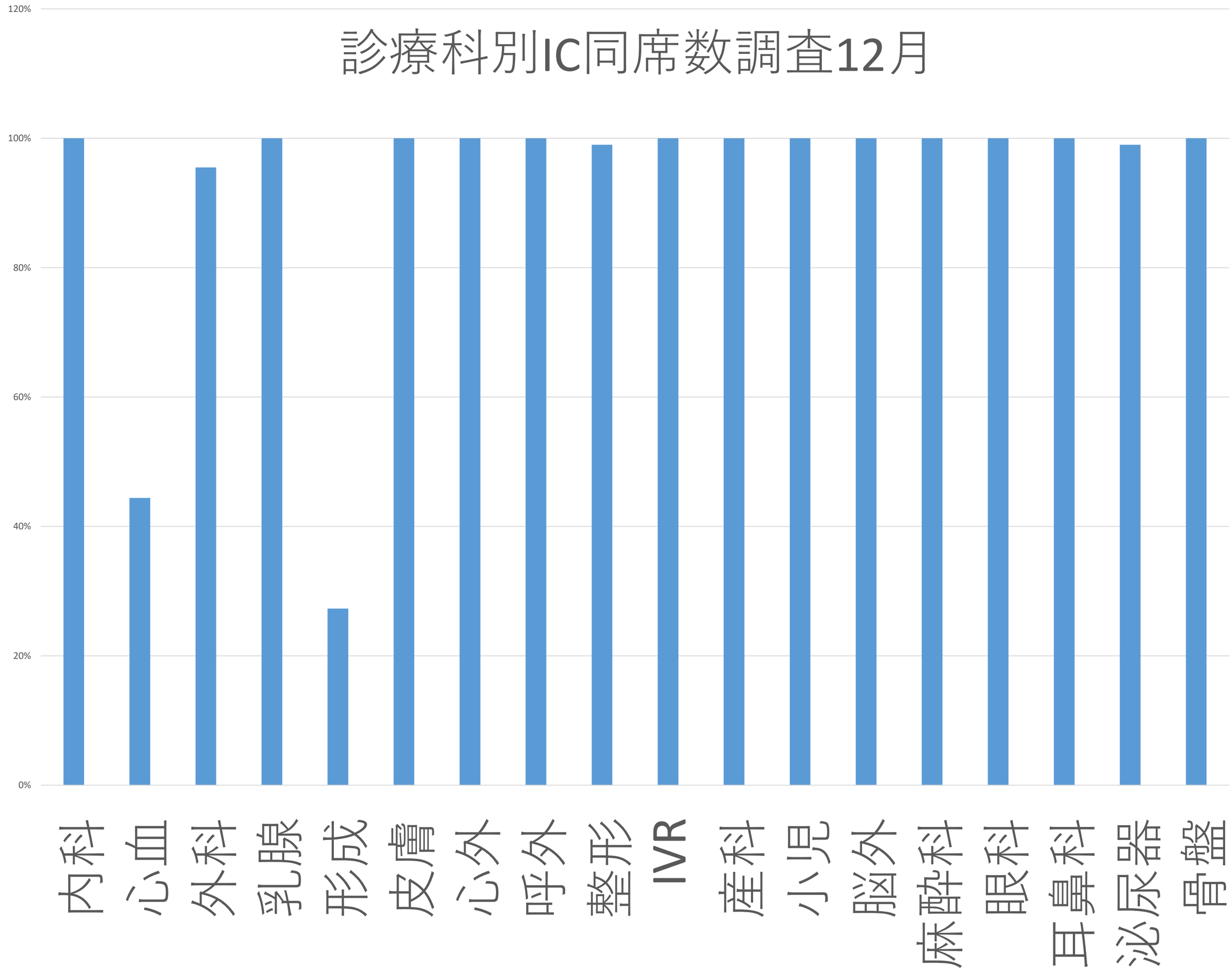
再Check

毎月のIC項目別結果

IC同席の内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全身麻酔による手術療法	88.7%	95.9%	95.7%	96.6%	89.2%	92.5%	**93.8%↑**
血管内治療	0.08%	0%	4.55%	0%	21.40%	10%	**46.6%↑**
補助循環等の装置		0%	0%	0%	0%	0%	0%
病名告知や予後の説明	100%		100%				100%
急変又は病状悪化時終末期の治療等の意思決定	100%					100%	100%
治療方針の決定や倫理的配慮を要する問題等	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
患者の状態や診療行為の侵襲度を結合して医療が必要と判断した場合	100%			100%	100%		100%

Check


PDCA
Plan
Do
Check
Act


診療科別IC同席数調査12月
120%
100%
80%
60%
40%
20%
0%
内科
心血
外科
乳腺
形成
皮膚
心外
呼外
整形
IVR
産科
小児
脳外
麻酔科
眼科
耳鼻科
泌尿器
骨盤

再Check



12月　335件/413件

12月　IC同席率93％目標達成できた

Action



・IC同席基準もとに各診療科と定期的に依頼方法の確認と共有化をはかる

・IC同席件数の毎月のデーターを可視化し、継続をはかる

・IC同席することで患者の意思決定を支援し、看護の継続を図っていく

